



たらぎ議会だより

No.135

令和7年8月7日
熊本県多良木町議会発行

6月定例会議

一般補正・繰越 P2

5人が質す P6 ~ 10

特集

町民に聴く . . . P4

明日へ続け

妙見野 展望台階段

保護者負担軽減に 保育園副食費助 成！ 防犯カメラ設置にも補助金！

人権擁護委員の推薦に同意

内場 幸さん (多良木)
赤星 光輝さん (久米)
林田三津子さん (黒肥地)

※人権擁護委員は法務大臣から委嘱を受けた
無報酬の民間ボランティアで人権相談等の
活動を行います。

6月トピックス

(千円以下切捨て)

小中学校のコンピュータ更新

3,778 万円

小学校 337 台 中学校 233 台
各学校に予備を含め学習者用コン
ピュータ合計 667 台を更新



給食センター消毒装置

1,229 万円

「子どもたちの食の安全・安心」のため、
R5 年度から 3 年計画でセンターの消
毒装置 12 台を更新する
R7 年度に 4 台を更新し
事業完了

天吊りコンテナ消毒装置



R4 年災害復旧工事請負契約締結

5,500 万円

鮎の瀬地区関係者の方にご心配をかけ
ていた工事請負契約を締結



立木処分計画

大字多良木字屋敷の公有林 62 年生の
スギ・ヒノキ 10.48ha を伐採計画



R7 年度一般会計の補正

7,212 万円を追加補正し

総額 79 億 6,612 万円とした

補正予算の主なもの (千円以下切捨て)

- コミュニティ助成事業補助 … 210 万円
黒肥地 1 区公民館にエアコン・机・椅子等の整備補助
- 防犯カメラ設置補助 … 100 万円
*補助率 1/2 限度額 2 万円で 50 件分予定
- 低所得者支援及び定額減税補足給付金 … 2,950 万円
定額減税しきれない方への給付金
- 副食費助成事業 … 344 万円
*3 歳児以上の副食費を町が保育園に直接助成
*は P4 に特集

繰越の報告

(千円以下切捨て)

- R6 年度一般会計繰越明許費繰越計算書事業費合計 11 件
9 億 7,620 万円→翌年度繰越額 4 億 2,889 万円
- R6 年度一般会計事故繰越し繰越計算書
※社会資本整備総合交付金道路事業→翌年度繰越額 1,890 万円
繰越理由：県管理下水道工事入札不調による町道工事遅れ
のため年度内完了が困難
※公共土木施設災害復旧事業→翌年度繰越額 2,226 万円
繰越理由：入札不調が続き締結遅れのため年度内完了が困難

令和 7 年度 6 月定例会議は 10 日から 17 日まで開催し、報告 8 件・条例等 7 件・
補正予算 5 件・人事案件 3 件・請願 1 件を審議した。
一般質問には 5 人が執行部の考えを質した。

請願は「趣旨採択」!!

件名及び要旨	提出者・紹介議員	付託委員会
人吉球磨准看護学院への さらなる支援を求める請願	一般社団法人 人吉市医師会 会長 友永 和宏	厚生文教 常任委員会
	一般社団法人 球磨郡医師会 会長 権頭 博	
	(紹介議員) 林田 俊策	

この請願は、郡市全体に提出されたもので、その内容は「補助金の増額」と「ふるさと納税応援メニューに『人吉球磨准看護学院助成』を追加」する請願である。しかしながら請願事項は「議会の権限事項」に属するものではなく「議会」としての意思決定は出来かねる。だが地域に「医療限界社会」が目前に迫っているとの危機意識もあり、また医療業界での人手不足を鑑み願意は十分に理解できるので「趣旨採択」とした。

「趣旨採択（しゅしさいたく）」とは 請願に対する決定方法は「採択」か「不採択」の2種類である。議会として請願・陳情の願意は妥当であり十分に理解できるが、採択とすることに問題があると考えする場合等に、「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることを「趣旨採択」と呼んでいる。どちらかというと採択に近い。

えびすの湯「改革」のその後は・・・？

えびすの湯はこれまで「料金改定」や「営業時間短縮」等の改革を実施してきた。その後の「客足数変化」「歩行浴・露天風呂廃止に対する反応」や「電気料金・人件費の軽減効果」はどうなっているのか等の調査を行った。

今後は「えびすの湯単体」の考えに留まらず、「駅前周辺エリア」を含めた構想をふまえ、R8年度までにその方向性を打ち出すことを執行部と共有することとした。

議会活性化特別委員会

令和6年度分 町議会議員の税等納付状況

多良木町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

令和7年3月末現在

職名	氏名	町民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	水道料金	下水道使用料	下水道事業受益者分担金
議長	宇佐 信行	○	○	○	○	—	○	○	○	○
副議長	魚住 憲一	○	○	○	○	—	○	○	○	○
議員 (議席番号順)	林田 俊策	○	—	○	○	—	○	—	—	○
	源嶋 たまみ	○	—	—	—	—	○	○	○	—
	久保田 武治	○	○	○	○	—	○	○	—	—
	豊永 好人	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	猪原 清	○	○	○	○	—	○	—	—	—
	落合 健治	○	○	—	—	—	—	○	○	○
	前田 文	○	—	—	—	—	—	—	—	—

【表示例】 「○」… 当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合 「×」… 当該年度に納付すべき額に未納がある場合 「—」… 本人に納付義務がない場合

町民の声

町民インタビュー 「こんなことを思っています」

副食費
助成事業

むつみ保育園
園長 那須 純子 さん



急激な出生数の減少に危機感を抱いていた中、保育料・副食費の無償化は待望の子育て支援です。保育園としても、この町で子育てがしたい、この町に生まれてよかったと思えるような町づくりの一端を担えればと思います。

副食費
助成事業

保育園保護者
しいば けいた さん



保護者として、保育園の副食費無償化は大変ありがたいです。
家計の負担が大幅に軽減され、特に毎日の食費は大きな出費なので、経済的な不安なく子どもを預けられます。浮いた費用を教育や習い事に充てられるのも嬉しい点です。

防犯カメラ
設置補助

特別養護老人ホーム あずみ野
職員 田島 美咲 さん



最近、不審者や車が傷つけられるなど物騒なことが増えていますが、防犯カメラ設置により早期発見・解決につながれると思います。また、安心して子育てができる支援策だと思います。設置には費用がかかるので、補助はとても助かります。

防犯カメラ
設置補助

多良木5区の1
区長 うめき ひろみつ さん



近隣で車を傷つける被害が相次ぎ、地域の不安が高まる中、防犯カメラ設置補助は本当に心強い支援です。区長としても、多くの方が関心を持っており、子育て世代にとっても安心して暮らせる環境づくりにつながると感じています。

源嶋 ためみ 議員



質問

地域計画は10年後の耕作者を農地一筆ごとに定めるよう策定が義務付けられていたが作成時の注意事項は、

大森農業委員会事務局長

農地転用の計画がある農地を計画内農地としないことや、国の補助事業を利用する可能性がある農家が作付する農用地においては計画に位置づけること、空いてくる農用地をだれが担っていくかなどである。

質問

規模縮小などの意向がある中で引き受ける意向の面積の合計がなぜ0（ゼロ）haなのか、どのような議論がされたのか。

大森農業委員会事務局長

規模縮小などの意向の面積はアンケート結果を記載し、規模拡大については意見を集約したいと考えていたが規模拡大に通じる意見がなかったため、現状維持



規模拡大に必要な大型機械

Q 中学校跡地の利用は

A R8年度をめどに方向性を

質問

庁舎内プロジェクトチームではどのような協議を進められているのか。

浅川企画観光課長

広さや立地面からも地域資源として非常に重要であると認識しており、様々な活用性について検討している。

質問

人が集まる施設を造って欲しいとの声があるが。

石井町長

私に寄せられる声にもそのような施設を望まれる意見があり、十分検討する。

質問

ある程度方向性が決まれば、予算の確保の準備や関係機関への呼びかけ等の行程に移ることができると思うが、いつ頃までに判断しようとお考えか。



何ができる？中学校跡地

《その他の質問》
①スケートボードの利用について

Q 物価高騰対策は

A 一定の取り組みを実施

質問

収入は増えない中、物価上昇で生活困窮者が増えている。低所得者への支援ができないか。

浅川企画観光課長

物価高騰対策の一環として低所得世帯や子育て世帯を対象とした支援金の給付など一定の取り組みを実施している。

質問

町長が掲げた「公約」の取り組み状況を伺いたい。暑さ対策のクーリングシェアター開設はどうか。



久保田 武治 議員

石井町長



この旗が目印です！（町民体育館）

町は、「気候変動適応法」に基づく施設としてR6年度より多目的研修センターを指定している。また町独自として体調を整えるまでの休憩場所を公的機関をはじめ民間の協力を得て増やしていきたい。

質問

ゴミ出し困難者対策は、

新堀福祉課長

町の生活支援体制整備事業の一環として昨年度末より社会福祉協議会に委託して開始された「えびす顔サポーター事業」により、掃除・ゴミ出し・リサイクル搬出

Q 平和教育は

A 学校・家庭で

質問

唯一の被爆国として児童生徒への平和教育をどのように進めるのか。

吉村教育長

平和教育は、子どもたちが平和問題を多面的に考え、平和な社会形成に主体的に参加できる力を育むことを



《その他の質問》

①防災会議の女性起用について
②川辺川ダム問題について
③教育長の所信について

猪原 清 議員



質問

全国の企業や自治体においてカスタマーハラスメント、いわゆるカスタハラ被害が報告され、その対策条例等を制定する自治体が増えている。本町においても該当すると思われる事案が発生しているが、今後どのように対策をするか。

東総務課長

地方公共団体における各種ハラスメントの防止について関係法律および厚生労働省指針に基づいて措置義務、責務が課されている。本町においてもカスタマー

Q カスハラ※対策は

A 対応マニュアル・訓令を作成



厚生労働省 HP より

※カスハラとは
カスタマーハラスメントの略で、顧客や取引先などが従業員に対して行う、社会通念上相当な範囲を超えた迷惑行為のこと。暴言、脅迫、不当な要求などが含まれ従業員の就業環境を害する行為を指す。

Q 老朽化した水道管対策は

A 財源確保し毎年更新していく

質問

全国で老朽化した上下水道管破損による事故が相次いでいる。本町の上水道管も敷設して40年以上のものが多くを占めるが、上水道管の経年と漏水等の状況は。

林田建設課長

町の上水道管で古いのは46年前の敷設であり、水道管の漏水は毎年発生し修理費用に毎年500万円程度かかっている。

質問

敷設替計画や必要財源の確保は。

林田建設課長

耐用年数を迎える水道管は増加すると見込んでいるので今後は更新工事を増やしていく。水道管以外の浄水場や配水タンクについても耐用年数が近づき、更新



「TBS NEWS DIG」より

《その他の質問》
①職員に対するアルコールチェックは

②町長公用車は必要か

質問

新制服を購入するに当たって、不安や懸念の声は。

黒木生涯学習課長

お下がりができなくなる、物価が上昇しているので購入価格が高くなるのではないかと、という声が多い。

質問

3月の定例会で入学祝金の増額等を含め検討していきたいと言われたが、現在考えは。

石井町長

現在、子育て支援策として中学校入学祝い金2万円交付している。物価高騰の影響も考慮し、増額へ向け検討する。



新制服デザイン (R8年度から)

Q がん患者への助成は

A 実施に向け検討する

質問

がん患者は、精神的・社会的・経済的に負担が大きいものがある。今まで、町ヘウィッグや乳房補整具等の相談はあったか。

竹下住民ほけん課長

過去5年間、住民ほけん課(保健センター)への相談は確認できていない。

質問

医療用ウィッグはたいへん高額であり、全国的にもがん患者の※QOL向上の為に助成制度を設けている自治体も増加している。県では実施されているが、本町でも補助できないか。

竹下住民ほけん課長

県下では22の市町村が事業に取り組まれている。町もQOL向上を図ることは必要と認識しており、早期の実施に向け検討する。

区 分	助成の対象となる用具
ウィッグ等	ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子ほか、市町村が認めるもの
乳房補整具等	補整パッド、補整下着、専用入浴着、人工乳房(エビテーゼ)ほか、市町村が認めるもの

県 HP より

石井町長

がん患者の方が充実した生活を送るため、実施する方向で検討する。

※QOLとは

「Quality of life(クオリティ・オブ・ライフ)」の略で、「生活の質」「生命の質」「人生の質」のこと。一般的には、個人の生活における満足度や幸福度を示す概念として使われる。医療や福祉の分野では、患者や利用者がどれだけ充実した生活を送れているかを評価する際に用いられる。

Q 新制服費用の支援は

A 増額に向け検討する

質問

R6年度に中学校制服の移行に関するアンケート調査で、新調する方針決定に至った経緯は。

黒木生涯学習課長

R6年6月当時の全中学生・教員、小学校5・6年生・保護者に実施し、近年の気候変動への対応ができる制服、個人の価値観の多様性への対応ができる制服へ見直しが必要と言う意見から、新制服導入への運びとなったと判断している。

前田 文 議員



おちあい
けんじ
落合 健治 議員



質問
民生委員の役割をどう考えるのか。

新堀福祉課長

地域の身近な相談相手・支援につなぐ役割として大切な存在である。少子高齢化社会の中で、その役割は一層多様化・高度化しており、その期待も大きい。

石井町長

最も身近な生活福祉の相談員であり地域福祉の要である。

質問

民生委員は重要で大事な役割を担っているが、なり手がなかなかいないというのも事実。活動費として県から6万円、町単独事業として6万円助成しているが、それでも厳しいのが現状。そこで行政区の事情に併せて、補助する人を増やせないか。

新堀福祉課長

担い手不足は全国的な問題である。町は現在欠員なく活動できているが、今後の課題だと認識している。定数の変更は県の条例改正が必要で町の判断ではできない。補助的な支援については、今後、他の自治体の取り組みや現在活動している委員の方に意見を聞きながら研究していく。

石井町長

増やせばいいとは思えない。県の条例クリアなどを視野に入れながら、検討課題として捉えている。先行事例などを研究しながら、本町の現状をまずは聞き、考えたい。



民生委員は大事な窓口

質問

校舎の老朽化も進む中、今後の小学校の在り方をどう考える。

吉村教育長

今後の児童数や他町村の動向も見ながら、子どもたちがより良い環境で効果的な教育が受けられるように考える。

Q 小学校の統廃合は

A 慎重に考えていきたい

石井町長

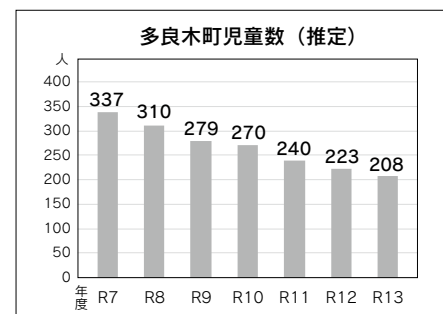
学校は、教育の場・地域コミュニティの核である。地域とも相談しながら考えていく。

質問

統廃合を含め早急に話し合いのテーブルにのせるべきでは。

吉村教育長

住民の意識が大切である。大事に慎重に考えていきたい。



《その他の質問》

緊急車両が侵入困難な地域への対応について

人吉球磨広域行政組合議会報告

R7年第1回定例会（2日目）が3月25日に開催され、議案第1号から第5号の条例案件と議案第7号・第8号の当初予算案件について執行部から補足説明を受け、原案のとおり可決した。※議案第6号はR6年度一般会計補正予算2月27日（1日目）に可決。（前号掲載済）

R7年第2回定例会が5月28日に開催され、一般会計補正予算が上程された。落雷による機械の故障の為、3,900万円の補正が組まれ、質疑の後原案のとおり可決した。なお、保険の適用が認められ全額補償を受けることができた。

議席の指定では、相良村議会改選により新たに選出された川邊 一徳 議員、古川 渉 議員の2名が議長より議席の指定があった。

同意第2号

監査委員の選任では、九万田 勝志 氏（人吉市）を原案のとおり同意した。

上球磨消防組合議会報告

R7年5月1日に 第1回上球磨消防組合議会臨時会が開催され、報告1件・承認1件・議案2件・発議2件が慎重審議された。

議案は第5号の「災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車」の更新事業について、8,400万円を原案どおり可決。

第6号議案はR7年度の一般会計補正予算が、歳入歳出予算の総額に500万円を追加し、質疑の後、総額歳入歳出それぞれ約8億6,900万円を可決した。

その他の承認・発議等も承認可決され、議会を閉じた。

上球磨消防署としては、熊本県で初めて消防指令業務共同運用が4月1日から開始され、

仮運用期間を入れると約半年となり、これまでよりも更に緊急的な対応が早く効率的になると期待をされている。

また、豪雨災害等に活躍されるであろう「資機材搬送車」がR6年度緊急防災・減災事業債を活用して導入され、これから先の台風や線状降水帯に伴う被害に対して頼もしい存在となった。



豪雨災害対応に期待される



共同運用された司令室



田植え、はじめ～！（小学校合同の食育活動）

豆ちしき

請願書・陳情書ってなんね？



多良子

請願書・陳情書・趣旨採択ってなんね？

お！めずらしゅう勉強モードばいね😊
まず、請願書・陳情書は公共団体に希望
要望すつためのもんたい😊



球磨雄



多良子

要望すつとはむずかしかとやろ？

いやいや、子どもでん外国人でん誰でっちゃでくつとばい！
そんなかで請願書には紹介議員っていう、「おおーそん意見は
よかなー」って議員さんがついてくいやつとげな😊



球磨雄



多良子

あーそういうことね😊 そいじゃ趣旨採択ってなんね？

6月定例会議で、でてきたで気になつとやろ？
あれはね、その請願は議会の権限の範囲じゃなかで
採択はされんとばってん、人吉球磨准看護学院に支援したかつて
いう気持ちは、よーわかる。じゃつて、「趣旨はわかった！」
っていうのが趣旨採択たい😊



球磨雄



多良子

そぎゃん意味やったんねー、よーわかったよ😊
私も町になんか要望してみようかね～

（＊詳細は P5 参照）

文責 落合

想
くおもい

令和の米騒動と言われた米の小売価格高騰は政府の備蓄米市場放出で一時的には沈静化の兆しを見せている。しかし本町、いや国の基幹産業の担い手である農業者への支援はどうなるのか。政府は備蓄米放出の次の一手として外国産米への関税を撤廃して輸入するという消費者保護施策を検討している。何度とも言いが、生産者保護はどうなる。今年の梅雨は記録的短期間に終わり深刻な水不足が懸念されている。ということは稲作に必要不可欠である水がなくなり米の生産に危機が迫っているということだ。田んぼに水を送るのに必要な費用負担が農家には重くのしかかる。

国の主食を供給する農家を何としても守ってもらいたい。町も農家には精一杯の支援を打ち出しているが、やはり町の後ろ盾となる国には需要と供給のバランスを重視した明確な農業者保護施策を示してほしい。

（文責 猪原 清）

広報特別委員会構成

◎前田 文 豊永 好人
○猪原 清 林田 俊策
源嶋たまみ 落合 健治